



# けい帯電話でなぜ話ができるの

## ふつうの電話が聞こえるしくみ

わたしたちが、ふつうの電話で、遠くの人と話をするときに、話す声が、送話器で電気信号に変えられ、その信号が、電話線を伝わって、電話局にある交換機にとどきます。そして、電話の相手が住んでいる、近くの交換機に電話をつなぎます。すると、電話線を通して、相手の家の電話につながり、受話器によって声を聞くことができます。

## けい帯電話が聞こえるしくみ

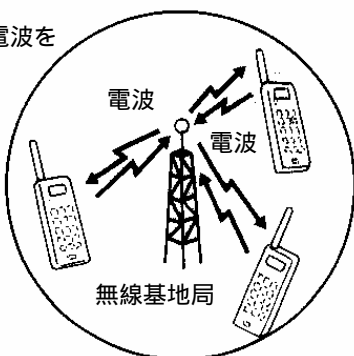
けい帯電話は、声が電波に変えられて、話ができるしくみになっています。けい帯電話は、移動中に電波を通して、相手と話ができるトランシーバ（送受信装置）の一種です。

けい帯電話は、けい帯電話に加入している人に対して、全国どこでも、電話の相手と話することができます。

けい帯電話から発信された電波は、いったん、無線基地局に送られます。そこから、電話局を通して、ふつうの電話線に送られたり、また、電波でけい帯電話に送られます。

無線基地局には、非常に広い地域まで、電波を送る方式のものと、せまい地域しか、電波を送らない方式ものがあります。（監修・青木 国夫）

広い地域に電波を送る方式



せまい地域に電波を送る方式

